

令和5(2023)年度 農業試験場いちご研究セミナー開催要領

令和5(2023)年11月
農業試験場

1 目的

本県は生産量54年連続日本一のいちご王国であり、最近では当场が開発した単収の多い新品種「とちあいか」の栽培が急速に拡大している。一方では、現場において今夏の猛暑による農作物への影響を懸念する声があがっている。

このため、最新のいちごに係る研究成果や夏季高温(猛暑等)に対応した研究状況を、生産者やJA等関係者に提供するとともに、参加者との意見交換を通じ、今後の研究に反映することにより、本県いちご生産の更なる振興を図る。

2 日時

	開催日時	対象者
第1回	12月5日(火) 10:00~12:00	河内・那須・下都賀・安足各農業振興事務所管内の生産者並びにJA、県農業士会、県内農業高校、県関係者等
第2回	12月5日(火) 13:30~15:30	上都賀・芳賀・塩谷南那須各農業振興事務所管内の生産者並びにJA、県内農業高校、県農業大学校、県関係者等

※同様の内容で2回開催

※各回、オンライン(Zoom)も開催(各JA又は各農振でサテライト会場設営等、対応願います。)

※県内農業高校はオンライン参加となります。

3 場所

農業試験場いちご研究所 研修館及び研究棟交流室

(栃木市大塚町2920 TEL:0282-27-2715 FAX:0282-27-8462)

4 参集範囲

「とちあいか」の新規栽培者、栽培志向者等を対象に開催

農業士会(いちご部会)、各JA・生産部会、栃木県いちご生産連絡協議会、JA栃木中央会、JA全農とちぎ、(一社)とちぎ農産物マーケティング協会、県(農政課、経済流通課、経営技術課、生産振興課、東京事務所、各農業振興事務所、農業大学校、農業環境指導センター)

5 内容

(1) 成果報告

- ・夏季高温(猛暑等)に対応したいちごの研究状況について(いちご研究所)
- ・「とちあいか」に関する最新の研究状況について(いちご研究所)
- ・いちごに関する病虫害対策(主にアザミウマ類)の研究状況について(病理昆虫研究室)

(2) 情報提供

- ・「とちあいか」に適した栽培管理技術について(経営技術課)
- ・その他情報(生産振興課等)

(3) いちご研究所圃場案内

(4) その他

- ・環境モニタリング機器、自動ラップ包装機等展示(研究棟交流室)